

5 付 加 価 値 額

- * 付加価値額は3兆2145億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が7214億円（構成比22.4%）で最も多い
- * 地域別では、瑞穂町が3565億円（構成比11.1%）で最も多い

(1) 産業別の状況

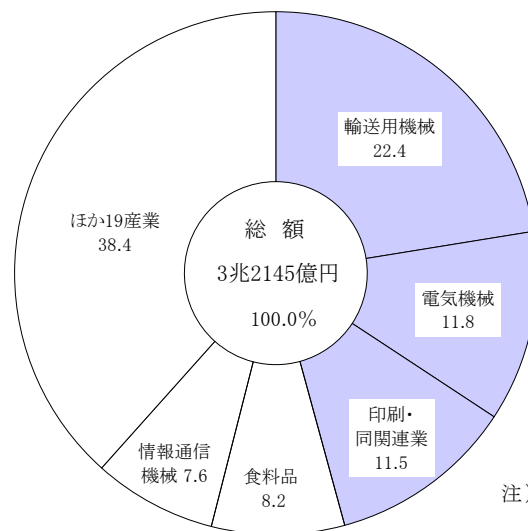
産業中分類別にみると、「輸送用機械」が7214億円（構成比22.4%）で最も多く、次いで「電気機械」が3799億円（同11.8%）、「印刷・同関連業」が3694億円（同11.5%）となっている。

前回と比較すると、14産業が増加し、10産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電気機械」の720億円（23.4%）、次いで「はん用機械」の78億円（10.8%）、「鉄鋼業」の75億円（23.0%）となっている。

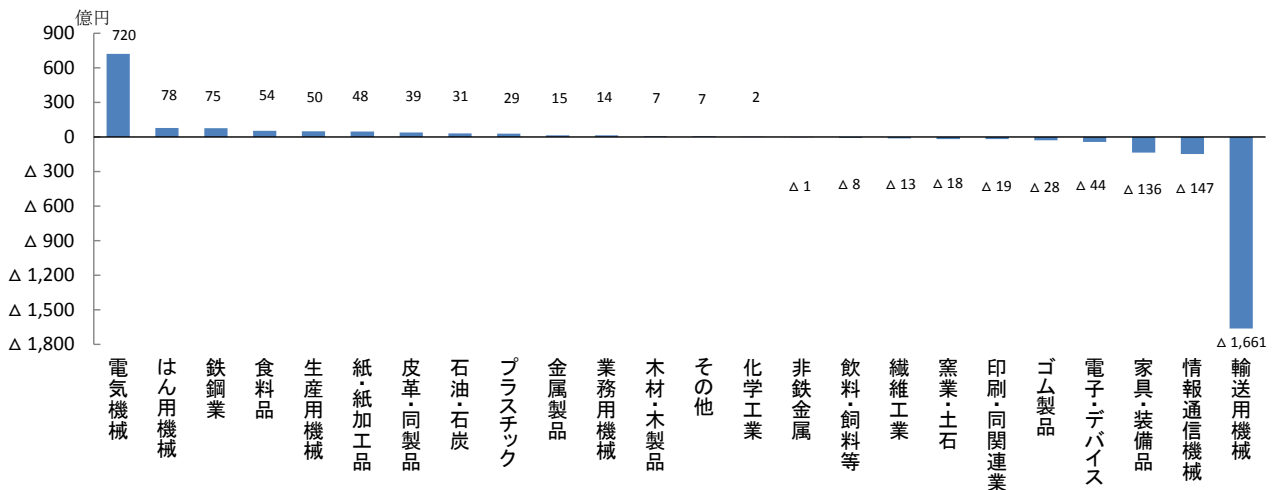
前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「輸送用機械」の1661億円（△18.7%）、次いで「情報通信機械」の147億円（△5.6%）、「家具・装備品」の136億円（△31.5%）となっている。（図22、図23、付表1）

図22 産業中分類別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図23 産業中分類別付加価値額対前回増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が1兆2878億円（構成比40.1%）で最も多く、次いで「50～99人」が2998億円（同9.3%）、「100～199人」が2881億円（同9.0%）となっている。

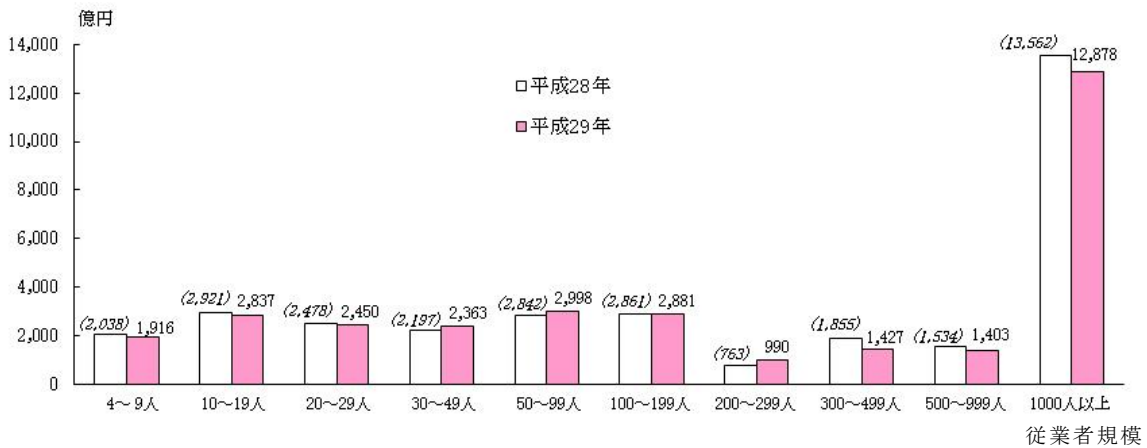
前回と比較すると、4区分が増加し、6区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「200～299人」の228億円（29.8%）、次いで「30～49人」の166億円（7.5%）、「50～99人」の155億円（5.5%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「1000人以上」の684億円（△5.0%）、次いで「300～499人」の428億円（△23.1%）、「500～999人」の131億円（△8.5%）となっている。

（図24、付表2）

図24 従業者規模別付加価値額（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

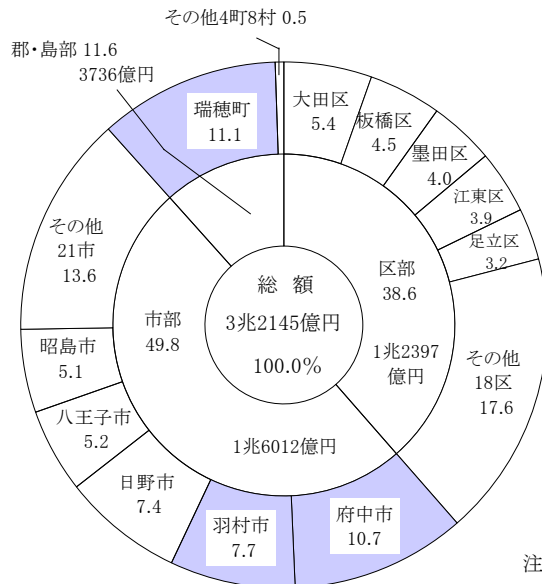
地域別にみると、区部が1兆2397億円（構成比38.6%）、市部が1兆6012億円（同49.8%）、郡部が3723億円（同11.6%）、島部が13億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が1736億円（同5.4%）で最も多く、次いで板橋区が1436億円（同4.5%）、墨田区が1292億円（同4.0%）となっている。

市部では、府中市が3455億円（同10.7%）で最も多く、次いで羽村市が2478億円（同7.7%）、日野市が2386億円（同7.4%）となっている。

郡部では、瑞穂町が3565億円（同11.1%）で最も多くなっている。（図25、付表3）

図25 区市町村別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 区部、市部の各上位5位及び郡・島部の1位を表記都内上位3位の区市町に網掛けをしている。